

らるご

つうしん No.9
2022・2・21発行

家庭福祉相談室 らるご
011-788-3931
080-1869-4171



年末年始、雪がいっぱい降りました。いつもは車でお友達が地下鉄を使って駅から歩いてくるなど、近年経験のない雪いっぱいの冬プロとなりました。でも、一歩外に出れば少しの時間でも雪遊びがしたいなど、みんな元氣いっぱい！楽しいこと、思い出に残ること、たくさんあった冬プロの一コマをご紹介します。

楽しさいっぱい！

オリンピックミュージアム
(大倉山ジャンプ競技場)



しっとりとお茶会・句会 & いい嵐いっぱいできました！



10月ごろ、ミュージアムに問い合わせをしました。「2022年は北京でオリンピックが開催されるのでジャンプの国際大会が目白押し」と混雑予想を教えてくださいましたので、12月27日のミュージアム行きを決定しました。年末ということもあり団体のお客様はなく、らるごの貸し切り状態でした。

各グループで挑戦したい冬のスポーツを決め、ジャンプ、アイスホッケー、リュージュ等様々な種目に挑みました。子どもたちは汗をかきながら「もう一回」と走り回っていました。昼食は国際ジャンプ大会が開催される時にプレスセンターとして使われる広い会議室で、一人ずつの距離をとってお弁当をいただきました。

昼食後、トランプ大会をやろうという組と再度ミュージアムで冬のスポーツを楽しみたいと言うグループで意見が分かれ、目的別にグループを組み直しました。それぞれが一日プログラムを楽しみました。年が明けるとコロナウィルスの蔓延で国際大会はほとんど中止となったそうです。



「和」のプログラムです。句会、お茶会。凧あげ！俳句作りの子どもたちは、コロナ禍で感じていることや、らるごに来て感じていること等々、それぞれ考えて、色紙に書いてくれました。ペンネームまで付けて・・・（らるごの広場に貼っておきます。）

凧作りもみんな、思い思いの絵を描き、北大ローンの誰も足を踏み入れられない積雪を避け、邪魔にならないように通路を走ってあげてきました。新雪の中で徒競走！

・・・筋肉痛付き

お茶会。お座布団に正座し、丁寧なおあいさつとお辞儀をして始まりました。なんとお行儀の良い事でしょう!!!

普段とは、全く違うたずまいの子どもたちを見て、大人の方が、緊張したくらいです。

お抹茶とお菓子をいただいて「おしゅうございました」と一言。

・・・足のしびれ付き

みんなでゆっくりと落ち着いた時間を過ごしました。



欲しいもの買えるかな??
地下鉄グッズ!



夏プロ等で行った JR 高架下・チカホ経由の大通までの道順。同じ道を進んで、大通の「札幌市交通事業振興公社 総務企画部事務所(売店)」に「地下鉄グッズ」を買いに行きました。

お金は1人500円まで！「買うもの(を選ぶ)シート」(下の写真はその一部)を配り、宿題で第1希望、第2希望まで書いてきてもらってから、買い物に行きました。

ほぼ同じルートながら、みんなの体力が違ったこと、道筋に慣れたこともあり、夏よりも随分楽に目的地に到着できました。途中で買うものシートを確認したり、欲しいものがなかった時の学習もし、みんな実にスムーズな買い物でしたよ。

一人で又は友達とどこかに行けたり、決まった金額で買い物ができることは、将来の楽しみに繋がります。家庭でも是非沢山体験してほしいと思っています。



不安なのは自分だけじゃない?
中学校生活について語り合いました

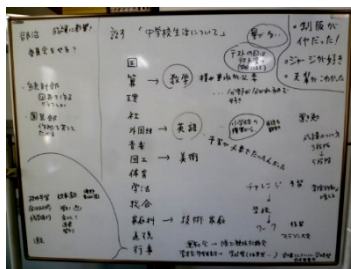


「中学校生活について語ろう」という初めてのプログラムを行いました。2名の小学6年生が参加してくれました。

小学校の次は中学校に行くこと決まっていますが、小学校と中学校はいろいろと違いがあります。中学校は部活があったり、制服があったり、教科の名前が変わったり、テストも大変...?参加者に思いを聞いたり、その違いを整理したりしました。

このプログラムのねらいは、「不安や悩みを解消すること」というよりも、「不安や悩みを抱えているのが自分だけではないことを感じてもらう」ことでした。

中学校生活のことに限らず、「こんな不安や悩みを抱えているのは自分だけ」と思うと辛いものです。全く同じではなくても、自分と似たような不安や悩みを抱えている人はきっと他にもいて、その事実が気持ちを少し楽にしてくれることがあるものです。





冬休み特別プログラムの終了のご報告



コロナウィルスの蔓延に記録的な大雪の中、冬休みが終了しました。

例年10月上旬にプログラム内容を検討しますが、感染再拡大の可能性も考え、何より安全を守りながら子供たちが楽しめるプログラムを企画いたしました。多くのプログラムでは感染予防の観点から昼食をとらず、午前・午後に分けて、できるだけ少人数で行いました。全日プログラムでは広い会議室を確保し、換気に十分配慮するなどの対応を行いました。参加した子どもたちが「楽しかったよ」と言ってくれたことがスタッフの何よりの励みとなりました。送迎をして下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

<アンケート結果のお知らせ>

昨年12月に行った「保護者における放課後デイサービス評価結果」を家庭福祉相談室ホームページの「情報公表」ページ（右下QRコード）に公開しております。当事業所に関するご意見、ご質問等に出来る限りの現状と対応策を載せてあります。ご一読ください。尚、紙面でご希望の方はスタッフまでお申し出ください。

～アンケート結果から（長期休み特別プログラムや土曜プログラムについて）～

コロナ禍において、時短や少人数でのプログラムは一定の支持を得ていることが伝わってきました。一方感染対策をした上で長時間のプログラムを希望されている方も一定数いらっしゃること分かりました。マンパワーには限りがありますが、今後とも感染対策と質の高い療育、子どもたちの安全等を考えながらプログラムをつくっていきたいと思います。

<実績記録の捺印について>

札幌市からの指導でサインも認められることになりました。
印鑑を忘れた場合には、必ずサインをお願いいたします。



「情報公表」のページ
アクセス後、下方にスクロールし
「放課後等デイサービス」にお進みください。

<春休み特別プログラムについて>

春プロの案内を2月21日から配布します。締め切りは3月9日（水） 昼12時です

<障害者扶養共済制度について>

障害のある方を扶養している保護者が自らの生存中に毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万一の事（死亡・重度障害）があった時、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度です。詳しくはスタッフまでお尋ねください。

<3月4月の予定について>

3/21 通常	3/22 通常	3/23 通常	3/24 通常	3/25 通常	3/26 春プロ
3/28 春プロ	3/29 春プロ	3/30~4/1	休室（職員は出勤）		4/2 春プロ
4/4 春プロ	4/5 春プロ	4/6~4/9	休室（職員は出勤）		

4/11 から通常プログラム